



2023年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2023年11月14日

上場会社名 リビン・テクノロジーズ株式会社
コード番号 4445 URL <https://www.lvn.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川合 大無
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部 部長 (氏名) 金木 宏之 TEL 03-5847-8556
定時株主総会開催予定日 2023年12月25日 有価証券報告書提出予定日 2023年12月26日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期の業績(2022年10月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	3,374	11.4	461	21.7	463	21.7	302	28.4
2022年9月期	3,029	6.6	379	172.5	380	156.9	235	165.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	224.94	224.65	23.5	22.4	13.7
2022年9月期	175.35	174.97	23.2	19.7	12.5

(参考) 持分法投資損益 2023年9月期 百万円 2022年9月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	2,125	1,451	67.6	1,068.73
2022年9月期	2,008	1,143	56.4	843.81

(参考) 自己資本 2023年9月期 1,435百万円 2022年9月期 1,133百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	253	258	148	1,108
2022年9月期	308	11	154	1,261

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期		0.00		0.00	0.00			
2023年9月期		0.00		0.00	0.00			
2024年9月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,750	11.1	380	17.7	380	17.9	240	20.6	178.64

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	:	有
以外の会計方針の変更	:	無
会計上の見積りの変更	:	無
修正再表示	:	無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期	1,343,588 株	2022年9月期	1,343,488 株
期末自己株式数	2023年9月期	22 株	2022年9月期	22 株
期中平均株式数	2023年9月期	1,343,521 株	2022年9月期	1,342,659 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(持分法損益等)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社を取り巻くインターネット広告市場においては、AIを活用した広告運用手法、通信環境の進展、デバイスの拡張などを背景に、引き続き堅調な成長が予想されますが、2024年内にサードパーティークッキーが完全に廃止されると見込まれるなど、注視が必要な状況であります。

このような状況の下、当社は、2023年9月期を「継続チャレンジフェーズ」とし、株主の皆様のご期待に応えるべく、「クライアント数の増大」「新サービスの収益化」「M&Aの成約」「粗利フォーカス」「組織の再編」の5つの重点施策に全力で取り組む年度と位置付け、企業価値の向上に取り組んでまいりました。

「クライアント数の増大」施策につきましては、請求ベースの月間平均クライアント数が2022年9月期第4四半期比で198社増加し、2,286社となりました。「新サービスの収益化」施策につきましては、外壁塗装の比較サービス『ぬりマッチ』の営業収益が着実に伸長しました。「M&Aの成約」施策は、不動産管理会社向け営業支援SaaS『BAIZO KANRI』を事業譲受し、営業を開始いたしました。また、「粗利フォーカス」施策において、WEBマーケティング効率の改善に注力し、「組織の再編」施策で部門を増設、専門性を高め業務遂行力の強化を図りました。

この結果、当事業年度の経営成績は、営業収益3,374,632千円（前期比11.4%増）、営業利益461,950千円（前期比21.7%増）、経常利益463,037千円（前期比21.7%増）、当期純利益302,208千円（前期比28.4%増）となりました。

なお、当社は、不動産プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は2,125,097千円となり、前事業年度末と比較して116,659千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が151,710千円減少した一方で、売掛金が100,342千円、投資その他の資産が222,349千円増加したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債は673,569千円となり、前事業年度末と比較して191,617千円減少いたしました。これは主に、未払金が46,362千円、長期借入金が99,614千円、未払法人税等が43,195千円減少した一方で、その他流動負債が49,741千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は1,451,528千円となり、前事業年度末と比較して308,277千円増加いたしました。これは主に、当期純利益を302,208千円計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ153,710千円減少し、1,108,120千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果獲得した資金は253,685千円（前事業年度は308,631千円の獲得）となりました。これは主に、税引前当期純利益462,985千円、前払費用の減少額72,361千円があった一方、売上債権の増加額99,601千円、未払金の減少額46,362千円、法人税等の支払額195,657千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は258,707千円（前事業年度は11,052千円の獲得）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出220,066千円、無形固定資産の取得による支出22,529千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果使用した資金は148,688千円（前事業年度は154,189千円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出148,758千円があったことによるものです。

（4）今後の見通し

2023年9月期は5つの重点施策を推進してまいりましたが、2024年9月期は、以下の4つの重点施策を推進してまいります。

- ①クライアント数を増やす
- ②第2の主力事業の早期実現
- ③売上高広告費率の改善
- ④人材の質と量を強化

「クライアント数を増やす」施策は、AI等を活用した新サービスのリリースや営業組織の改編などを通じて全サービスのクライアント数の増大を図り、「第2の主力事業の早期実現」施策は、『リビンマッチ』に並ぶ主力事業を作るとともに、2023年9月期に営業収益が着実に伸長した『ぬりマッチ』事業を完全子会社に承継し、より加速度的な成長を目指します。「売上高広告費率の改善」施策は、SEOなどオーガニック事業を強化し、「人材の質と量を強化」施策は、合計20名超の正社員純増や高度人材の獲得、デジタル人材化を促進してまいります。

以上より、2024年9月期の通期の業績予想としては、投資金額180,000千円を踏まえ、営業収益3,750,000千円（前年同期比11.1%増）、営業利益380,000千円（前年同期比17.7%減）、経常利益380,000千円（前年同期比17.9%減）、当期純利益240,000千円（前年同期比20.6%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

財務諸表は、会社法上の分配可能額の計算や法人税法上の課税所得の計算においても利用されることを鑑み、当社は会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,279,834	1,128,123
売掛金	488,497	588,840
前払費用	91,948	19,551
その他	2,614	4,548
貸倒引当金	△8,586	△11,812
流動資産合計	1,854,308	1,729,251
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,540	8,711
車両運搬具（純額）	483	241
工具、器具及び備品（純額）	1,248	1,396
有形固定資産合計	8,272	10,349
無形固定資産		
ソフトウェア	7,969	24,893
商標権	959	1,325
無形固定資産合計	8,928	26,218
投資その他の資産		
投資有価証券	19,579	237,415
破産更生債権等	1,501	759
長期前払費用	33	33
繰延税金資産	32,163	33,304
その他	85,151	88,523
貸倒引当金	△1,501	△759
投資その他の資産合計	136,928	359,277
固定資産合計	154,128	395,845
資産合計	2,008,437	2,125,097

（単位：千円）

	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,925	1,883
1年内返済予定の長期借入金	150,842	101,698
未払金	273,041	226,679
未払費用	97,281	117,668
未払法人税等	135,528	92,332
未払消費税等	37,976	28,640
前受金	15,577	48,311
ポイント引当金	366	464
預り金	3,541	9,400
流動負債合計	719,082	627,079
固定負債		
長期借入金	146,104	46,490
固定負債合計	146,104	46,490
負債合計	865,186	673,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	194,260	194,295
資本剰余金		
資本準備金	163,260	163,295
資本剰余金合計	163,260	163,295
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	776,213	1,078,422
利益剰余金合計	776,213	1,078,422
自己株式	△103	△103
株主資本合計	1,133,631	1,435,909
新株予約権	9,619	15,618
純資産合計	1,143,251	1,451,528
負債純資産合計	2,008,437	2,125,097

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業収益	3,029,520	3,374,632
営業費用	2,649,836	2,912,681
営業利益	379,683	461,950
営業外収益		
受取利息	14	12
有価証券利息	245	1,233
雑収入	2,863	609
その他	397	759
営業外収益合計	3,521	2,615
営業外費用		
支払利息	1,300	764
投資事業組合運用損	1,420	746
雑損失	-	18
営業外費用合計	2,720	1,528
経常利益	380,484	463,037
特別損失		
固定資産除却損	109	51
特別損失合計	109	51
税引前当期純利益	380,375	462,985
法人税、住民税及び事業税	156,531	161,918
法人税等調整額	△11,581	△1,141
法人税等合計	144,950	160,777
当期純利益	235,425	302,208

（3）株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	193,829	162,829	162,829	540,788	540,788	△103	897,344	3,620	900,964
当期変動額									
新株の発行	431	431	431				862		862
当期純利益				235,425	235,425		235,425		235,425
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								5,998	5,998
当期変動額合計	431	431	431	235,425	235,425	-	236,287	5,998	242,286
当期末残高	194,260	163,260	163,260	776,213	776,213	△103	1,133,631	9,619	1,143,251

当事業年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	194,260	163,260	163,260	776,213	776,213	△103	1,133,631	9,619	1,143,251
当期変動額									
新株の発行	34	34	34				69		69
当期純利益				302,208	302,208		302,208		302,208
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								5,998	5,998
当期変動額合計	34	34	34	302,208	302,208	-	302,278	5,998	308,277
当期末残高	194,295	163,295	163,295	1,078,422	1,078,422	△103	1,435,909	15,618	1,451,528

（4）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	380,375	462,985
減価償却費	4,246	7,198
差入保証金償却額	601	7,693
株式報酬費用	5,998	5,998
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,861	2,483
受取利息	△14	△12
有価証券利息	△245	△1,233
支払利息	1,300	764
固定資産除却損	109	51
投資事業組合運用損益（△は益）	1,420	746
売上債権の増減額（△は増加）	26,059	△99,601
前払費用の増減額（△は増加）	△27,777	72,361
仕入債務の増減額（△は減少）	△202	△3,042
未払金の増減額（△は減少）	△25,859	△46,362
未払費用の増減額（△は減少）	8,214	20,386
未払消費税等の増減額（△は減少）	6,278	△9,336
その他	12,355	28,449
小計	394,724	449,530
利息の受取額	510	540
利息の支払額	△1,269	△727
法人税等の支払額	△85,332	△195,657
営業活動によるキャッシュ・フロー	308,631	253,685
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,001	△6,000
有形固定資産の取得による支出	△527	△4,087
無形固定資産の取得による支出	△5,628	△22,529
投資有価証券の償還による収入	40,000	-
投資有価証券の取得による支出	△12,000	△220,066
投資事業組合からの分配による収入	-	1,265
保険積立金の積立による支出	△2,502	△2,502
差入保証金の差入による支出	△8,428	△4,772
差入保証金の回収による収入	5,656	210
その他	484	△224
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,052	△258,707
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△155,052	△148,758
株式の発行による収入	862	69
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154,189	△148,688
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	165,494	△153,710
現金及び現金同等物の期首残高	1,096,336	1,261,831
現金及び現金同等物の期末残高	1,261,831	1,108,120

(5) 財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準適用指針の適用が財務諸表に与える影響はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、不動産プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	843.81円	1,068.73円
1株当たり当期純利益	175.35円	224.94円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	174.97円	224.65円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	235,425	302,208
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	235,425	302,208
普通株式の期中平均株式数(株)	1,342,637	1,343,499
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	2,864	1,755
(うち新株予約権(株))	(2,864)	(1,755)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。